



5月保健だより

令和5年4月28日発行
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園

鼻水のおはなし

季節の変わり目やアレルギーなどにより、子どもは鼻水が出やすくなります。鼻水の他に発熱のどの痛み、食欲不振、黄色や緑色の粘り気のある鼻水が続くなどの症状があれば病院で診てもらいましょう。

どうして鼻水が出るの？

鼻水は体を守るために必要なもので鼻や喉に付いたウイルスを排除するために出るものです。また、炎症を起こした鼻の粘膜を守る役目もあります。

小さい子はこまめに吸い取って！

まだじょうずに鼻がかめない子は、ティッシュでこまめに拭いてあげたりしましょう。また、頻回に鼻水を拭いていると鼻の皮膚がただれてくるので、その場合は炎症を抑える軟膏を塗ってあげましょう。



5月予定

8日(月) 身体測定 10日(水) 乳児検診
16日(火) 全園児歯科健診(9時30分～)

{朝食後の歯磨きを忘れずをお願いします}



虫刺されに注意

自然の場所には、いろいろな生き物や虫たちが存在します。毛虫のほとんどは毒がなく触っても問題ありませんが、一部の毛虫には皮膚炎を起こすものもあります。中でも有毒な毛を持ったチャドクガの毛虫は4～10月頃ツバキ科の樹木(お茶の木、サザンカ、ツバキ)などに発生します。触れたと思ったら即座にガムテープなどを貼って有毒毛を剥がします。患部を水で洗い流し、痒み止めの薬を塗るようにしてください。状態によっては病院受診をして下さい。これから暖かくなる季節ですが、庭遊びや山散歩などの際には注意しましょう。



4月の感染症の報告はありませんでした。

入園・進級し体調を崩す子どもが増えています。熱発時に病院受診をしていない場合は解熱後3日間は自宅で様子を見てもらっていましたが、5月からは解熱後24時間経過後に登園は可能です。熱中症に注意が必要な季節になりましたのでこまめに水分を取るようにしましょう。

